

平成20年度決算は付帯意見を添えて認定

審議は3日間で施策を徹底検証

論議の内容

Q 一般会計で、差し引き残高が3億4千万円ほど出ている、行財政改革に取り組んだ成果の現われと思うが、反面切り詰めすぎて住民は、福祉・暮らしに不満を感じることとなる。あまり大きな切り詰めをしないと「住みにくい町」と感じられる。そのような事のないよう、次年度予算を考えないといけない。

A この5年間はわが町を存続する目的で、財政健全化に努めてきた。したがっ

て、町民の皆さんには窮屈な思いをされた年だと感じている。

おかげで、財政健全化の見通しもついてきた。今後とも、住民の協力をいただきながら、節約効果を生かすよう財政健全化と合わせたスリムな体制を作っていく。

Q 滞納者に対する考えは。

A 滞納者には、納付方法の相談を行って、それでも相談にも来ない、納付もない住民には、強制執行をとらざるをえないと考える。これ以上

納付率を下げないよう努力する。

Q 有害鳥獣の決算で300万円。イノシシの捕獲数で割ると1頭につき6万円弱。他の自治体の倍の費用がかかっている。



困ったやつじゃ

今後の有害鳥獣対策をどう考えるのか。

A H21年度においては拡充して取り組んでいる。捕獲状況はH20年度実績をクリアしている。次年度には、捕獲対策、保護対策も含め一体的に取り組む。

Q 松くい虫の防除、予防委託の状況は。

A 松くい虫は全体的に増えている状況で、H20年度には川尻、せらに青少年旅行村付近を実施した。

NO	平成20年度 決算認定採決	賛成	反対
1	一般会計歳入歳出決算認定	12	2
2	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	12	2
3	老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定	13	1
4	後期高齢者医療制度特別会計歳入歳出決算認定	12	2
5	介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	12	2
6	介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	14	0
7	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	14	0
8	上水道事業会計決算認定	14	0
9	簡易水道事業会計決算認定	14	0
10	公共下水道事業会計決算認定	11	3



充実した地域医療を望む

Q 三原広域市町村
圏事務組合から

3億円弱入っている。事務組合の基金として積んだものを廃止し配分されたもので、基金で行っていた事業は、各自自治体で継続することになっていたが、どのように運用活用したのか。

A ふるさと基金は
利息運用で各種

事業（広島公響楽団鑑賞・せら駅伝）を展開してきた。H20年度は三原市と負担金を出し実施した。今までやってきた部分は重点的に行っている。

Q 公用車の台数、
購入に関するこ

と、事故弁償などが議会に付される議案に上がっていないが何故か。

A 現在の保有台数
は、自動車95台、

消防車7台、ポンプ積載車43台である。物品700万円以上の購入でないと議会に付すという必要があるのではないかと上

がっている。事故などは保険会社から直接支払いをして

だから、反対

反対討論

●矢山 深刻な不況下

で国の景気対策が行われている。今だに厳しい状況が続いている。H20年度では小学校統合や重要な課題が議論

されたが多くの問題が残っている。特に農業については、国の方針で大型化・法人化が進められ家族経営が厳しくなっていく中で、支援が不十分である。農業だけでなくいろんな面

面で厳しい中、町が住民の福祉・暮らしを守っていくという立場に立つことが必要であ

る。今まで言ってきたことに對して、改善が見えないので決算に反対する。

だから、賛成

賛成討論

●徳光 世界大不況の中、地域経済の活力再生と暮らしの安全安心を求めるための対策として、基盤整備および緊急雇用対策など補正予算が執行された。

本町も12月18日世羅町地域経済雇用緊急対策本部が設置され対策が実施されているところである。

町の財政状況は地方交付税50億円、町税約20億円と伸びはなく、一般財源充当は非常に困難な状況にある。新規事業が凍結されたなかで中央病院の医師確保と看護師の増、保育所の再編整備・認定こども園の整備などさまざまな意見はあるが実現を果たしている。また産業の振興に関して

は、農業法人の4経営体が出来た。教育に關しては、確かな学力向上が定着し、道徳教育を推進、思いやりのある教育指導がなされている。

陳情・請願
4件全て採択

◎農業用排水路の汚泥を処理してほしい
中原地区振興会
会長 実久 學
(賛成10 反対4)

◎町道奈良ノ木中原線を舗装してほしい
中原地区振興会
会長 実久 學
(賛成12 反対2)

◎県の重要文化財保存修理に支援をしてほしい
総代会 代表 黒木 從雄
(賛成13 反対1)

◎教育予算の拡充を求める意見書を国に提出してほしい
広島県教職員組合世羅地区支部 区長 井藤とも子
(賛成14 反対0)

付帯意見

① 行政執行にあたり、説明責任の不十分な事案が見受けられたが、今後は十分な説明責任を果たされたい。

② 歳入において、不納欠損額及び収入未済額が増額傾向にあるが、税負担の公平公正を図るため、さらなる努力をされた

③ 決算審査の過程において指摘した事項については、十分留意し今後の行政執行に反映されたい。以上の付帯意見を付し、認定とした。